

第 1 回八戸市総合計画策定委員会で決定した事項について

1. 次期八戸市総合計画の策定コンセプトについて

- ①基本構想は、10 年程度先の当市の将来都市像実現を目指すために掲げる計画の要となる部分であり、市民との共有を図るため、わかりやすく表現する。
- ②基本計画は、時代の変化に適時適切に対応するため、柔軟性かつ機動性を確保できるものとする。
- ③実施計画相当として取り扱う未来共創推進戦略は、中期的な方向性を見据えつつ、毎年度発生する喫緊の課題等への対応を踏まえた内容とする。
- ④進捗管理は、各課が策定する個別計画の指標との整合性を持たせるほか、市民意識調査等の結果を活用するなど、わかりやすい進捗管理を図る。

2. 次期八戸市総合計画の構造と計画期間について

市の将来ビジョンを示す基本構想は長期的な計画期間を設け、時代の変化による影響を受けやすい基本計画は、機動的に見直しすることができるものとするとともに現行の計画期間より短縮するもの。

また、これまで総合計画の補完的な役割として未来共創推進戦略を取り扱ってきたが、総合計画と未来共創推進戦略を一体的に管理し、同戦略を基本計画部分と連動させていくもの。

| 構 造 | 【基本構想】+【基本計画+未来共創推進戦略】 |
|--------------|--|
| 基本構想 | 令和9年度から令和 16 年度(8年間) |
| 基本計画 | (前期) 令和9年度から令和 12 年度(4年間) (後期) 令和 13 年度から令和 16 年度(4年間) ※機動的な見直しができるものとするため、大きな社会構造の変化が発生した場合には、4年に限らず変更できることとする。 |
| 未来共創 推進戦略 | 単年度戦略であるため、毎年更新 |
| 備 考 | 機動的に見直しができるものことから、それを実現するために、どのような内容構成の基本計画とするか、その方針については第2回策定委員会の審議事項とする。 |

3. 市民参画の取組について

- (1)策定委員会委員の公募
- (2)市民アンケート
(①無作為抽出+市政モニター、②こどもモニター、③誰でも回答できるアンケート)
- (3)市民ワークショップ
(第1回:社会人、第2回:社会人・大学生・高校生)
- (4)多様な市民参画への取組
(①フォトコンテスト、②みんなで描く 10 年後の八戸プロジェクト)
- (5)各種団体・専門家等との意見交換
- (6)市議会からの意見聴取
- (7)パブリックコメント